

## ■参考 褥瘡対策評価表(モデル事例)(1週間分とりまとめ事例)

1. 褥瘡の状態(部位毎に記載)

病棟 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

部位(部位名)		褥瘡(あり・なし)							年		/ (日)		/ (月)		/ (火)		/ (水)		/ (木)		/ (金)		/ (土)	
		※※1. ( ) 2. ( )							1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
褥瘡状態の評価 (DESIGN-R)	深さ	(0)皮膚損傷発赤なし	(1)持続する発赤	(2)真皮までの損傷	(3)皮下組織までの損傷	(4)皮下組織を超える損傷	(5)関節腔体腔に至る損傷	(U)深さ判定が不能の場合																
	滲出液	(0)なし	(1)少量:毎日の交換を必要としない	(3)中等量:1日1回の交換	(6)多量:1日2回以上の交換																			
	大きさ 長径×長径に直交する最大径(持続する発赤の範囲も含む)	(0)皮膚損傷なし	(3)4未満	(6)4以上16未満	(8)16以上36未満	(9)36以上64未満	(12)64以上100未満	(15)100以上																
	炎症・感染	(0)局所の炎症徴候なし	(1)局所の炎症徴候あり(創周辺の発赤、腫脹、熱感、疼痛)	(3)局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭)	(9)全身的影響あり(発熱など)																			
	肉芽形成 良性肉芽が占める割合	(0)治療あるいは創が浅い為評価不可能	(1)創面の90%以上を占める	(3)創面の50%以上90%未満を占める	(4)創面の10%以上50%未満を占める	(5)創面の10%未満を占める	(6)全く形成されていない																	
	壊死組織	(0)なし	(3)柔らかい壊死組織あり	(6)硬く厚い密着した壊死組織あり																				
	ポケット 潰瘍面も含めたポケット全周(ポケットの長径×長径に直交する最大径)－潰瘍面積	(0)なし	(6)4未満	(9)4以上16未満	(12)16以上36未満	(24)36以上																		
DESIGN-Rの合計点(深さの点数は加えない)																								

※該当する状態について、両括弧内の点数を合計し、「合計点」に記載すること。ただし、深さの点数は加えないこと。

※※褥瘡がある場合は1.1カ所目、2.2カ所目の点数を記載。褥瘡がない場合は1.に0点と記載する。褥瘡が3カ所以上ある場合はこの用紙を2枚作成する。

2. 褥瘡の状態の変化

	評価日	1カ月前	2カ月前	3カ月前
	(月 日)	(月 日)	(月 日)	(月 日)
DESIGN-Rの合計点				

1. 前日までのDESIGN-Rの合計点は、暦月内で最も低い合計点を記載する。

2. 褥瘡の部位により合計点異なる場合は、最も低い合計点を記載する。